

麻薬年間届の記載例

(氏名の欄)

麻薬診療施設：麻薬管理者(麻薬施用者1人の場合は施用者)の氏名を記載する。

麻薬研究者：麻薬研究者の氏名を記載する。

麻薬小売業者：(法人開設)名称及び代表者名を記載する。

(個人開設)開設者氏名を記載する。

押印は不要です。

長崎県知事	殿	麻薬年間届	令和	年	月	日
			麻薬業務所所在地	長崎市〇〇町〇番〇〇号		
			麻薬業務所名称	〇〇病院		
			免許の種類	管理者		
			免許番号	□□□□□□		
			氏名(法人にあっては、名称)	長崎 太郎		

品名 ※1	単位 ※2	前年10月1日 在庫数量	前年10月1日から 本年9月30日までの		本年9月30日 在庫数量	備考
			受入数量	払出数量		
モルヒネ塩酸塩水和物	g	12.5		2.0	10.5	事故届0.5g R5.12.4 ※3
ペチジン塩酸塩注射液35mg	A	25	20	35	10	廃棄届 5A R6.7.3 ※3
コデインリン酸塩末	g	60	25	70	15	
MSコンチン錠10mg	T	20	100	80	70	※5
MSコンチン錠10mg	T		(30)			※4
コデインリン酸塩10%散	g	45	700	600	145	原末より調製 ※6
コデインリン酸塩散10%	g	25	200	180	45	製品 ※6
オキシコンチン錠5mg	T	0	114	98	16	
オキシコンチン錠5mg	T		(14)	(28)		薬局間譲渡・譲受 ※8

記載にあたっての注意事項は以下のとおりです。

- ※1 品目別に記載してください。ただし、原末より調製したものと製品は、別掲として記載欄を設けてください。
- ※2 単位は、g、A (アンプル)、T (錠)、mL、V (バイアル)、包、枚などを記載してください。
- ※3 麻薬廃棄届を提出して廃棄した麻薬及び麻薬事故届を提出した麻薬については、備考欄にその旨及び数量、提出年月日を記載してください。
なお、調剤済麻薬廃棄届を提出した麻薬については、記載の必要はありません。
- ※4 再利用として当初から受け入れた返納麻薬については、別掲の受入数量欄に()書きで数量のみを記載してください。
- ※5 返品された麻薬を再利用(予定を含む)した場合の届出書作成の考え方は、次のとおりです。
[例] 20(期始在庫数量) + 100(麻薬卸売業者からの受入) + 30(再利用) - 80(払出) = 70
- ※6 コデインリン酸塩10%散等、その診療施設で調製した麻薬又は製品である麻薬の記載については、原末を記入した次の欄に、原末に換算することなく調製した量をそのまま記入し、前者については「原末より調製」、後者については「製品」と備考欄に記入してください。
- ※7 MSコンチン錠10mgのように100T、200Tなど包装単位が異なるものは、あわせた数量を記載してください。
- ※8 麻薬小売業者間譲渡許可に基づいて行った譲渡・譲受については、品名毎に、内数として()書きで併記してください。
- ※9 期始在庫(前年10月1日在庫)は、前年の期末在庫(9月30日在庫)と一致しなければなりません。
- ※10 期間中に麻薬を所有していなかった場合は「在庫なし」と記載し、必ず提出してください。